

令和 8 年 2 月 16 日  
課名 教育委員会事務局  
生涯学習課  
担当者 課長 山内  
内線 5010

## 博物館再登録について

### 1 要旨・目的

博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 11 条の規定により、安芸高田市歴史民俗博物館、仙石庭園石ミュージアム及び東広島市立美術館を広島県教育委員会の博物館登録原簿に再登録した。

### 2 現状・背景

令和 5 年 4 月 1 日に博物館法の一部を改正する法律（令和 4 年法律第 24 号）が施行され、博物館登録制度（登録要件及び審査手続等）の見直しが行われた。

これに伴い、法改正前に既に登録されている博物館が引き続き登録を受けようとする場合は、令和 10 年 3 月 31 日までに、法改正後の登録要件の審査を受ける必要がある。

このため、再登録の申請のあった 3 館について、書面審査及び実地調査を行った結果、法改正後の登録要件を備えていると認められたため、再登録した。

### 3 概要

#### 再登録事項

設置者の名称及び住所	博物館の名称及び所在地	登録番号
安芸高田市 安芸高田市吉田町吉田 791 番地	安芸高田市歴史民俗博物館 安芸高田市吉田町吉田 278 番地 1	第 26 号
公益財団法人仙石庭園 東広島市高屋町高屋堀 1589 番地 7	仙石庭園石ミュージアム 東広島市高屋町高屋堀 1589 番地 7	第 32 号
東広島市 東広島市西条栄町 8 番 29 号	東広島市立美術館 東広島市西条栄町 9 番 1 号	第 33 号

再登録年月日

令和 8 年 2 月 13 日

## 登録博物館一覧

令和8年2月13日現在

No.	設置者	名称	所在地	備考	
1	宗教法人厳島神社	厳島神社宝物館	廿日市市宮島町1番地1	昭和27年9月20日登録	
2	宗教法人耕三寺	耕三寺博物館	尾道市瀬戸田町瀬戸田553番地の2	昭和27年9月20日登録	
3	福山市	福山市立福山城博物館	福山市丸の内一丁目8	昭和42年9月28日登録	
4	広島県	広島県立美術館	広島市中区上幟町2番22号	昭和43年4月1日登録	令和6年3月22日再登録
5	尾道市	尾道市立美術館	尾道市西土堂町17番19号	昭和55年2月28日登録	
6	宗教法人平等大慧会	海の見える杜美術館	廿日市市大野亀ヶ岡10700番地	昭和58年3月17日登録	令和7年3月14日再登録
7	呉市	呉市立美術館	呉市幸町4番9号入船山公園内	昭和58年7月22日登録	令和7年3月14日再登録
8	広島県	広島県立歴史博物館	福山市西町二丁目4番1号	平成3年2月8日登録	令和6年3月22日再登録
9	(公財)しぶや美術館	しぶや美術館	福山市本町8番27号	平成6年2月17日登録	
10	(公財)能宗文化財団	福山自動車時計博物館	福山市北吉津町三丁目1番22号	平成6年5月13日登録	
11	広島県	広島県立歴史民俗資料館	三次市小田幸町122番地	平成7年2月24日登録	令和6年3月22日再登録
12	(公財)ウッドワン美術館	公益財団法人ウッドワン美術館	廿日市市吉和4278番地	平成9年9月12日登録	令和7年3月14日再登録
13	尾道市	平山郁夫美術館	尾道市瀬戸田町沢200番地2	平成10年10月15日登録	
14	福山市	ふくやま美術館	福山市西町二丁目4番3号	平成11年3月12日登録	
15	福山市	福山市しんいち歴史民俗博物館	福山市新市町新市916番地	平成11年5月14日登録	
16	庄原市	庄原市立比和自然科学博物館	庄原市比和町比和1119番地1	平成17年1月14日登録	
17	安芸高田市	安芸高田市歴史民俗博物館	安芸高田市吉田町吉田278番地1	平成17年9月9日登録	令和8年2月13日再登録
18	庄原市	庄原市帝釈峠博物展示施設時悠館	庄原市東城町帝釈未渡1909番地	平成17年9月9日登録	
19	広島県	賴山陽史跡資料館(広島県立歴史博物館分館)	広島市中区袋町5番15号	平成31年1月31日登録	令和6年3月22日再登録
20	(公財)仙石庭園	仙石庭園庭石ミュージアム	東広島市高屋町高屋堀1589番地7	令和2年12月23日登録	令和8年2月13日再登録
21	東広島市	東広島市立美術館	東広島市西条栄町9番1号	令和5年1月13日登録	令和8年2月13日再登録
22	(一財)下瀬美術館	下瀬美術館	広島県大竹市晴海2丁目10番50号	令和5年7月14日登録	-
23	熊野町	筆の里工房	安芸郡熊野町中溝五丁目17番1号	令和5年10月13日登録	-

## 指定施設一覧

令和8年2月13日現在

No.	設置者	名称	所在地	備考	
1	廿日市市	宮島水族館	廿日市市宮島町10番3	昭和35年3月28日指定	
2	福山市	福山市立動物園	福山市芦田町大字福田276番地の1	平成23年12月5日指定	
3	(公財)みやうち芸術文化振興財団	アートギャラリーミヤウチ	廿日市市宮内4347番地2	令和2年7月10日指定	令和7年3月14日確認

博物館法施行規則の一部を改正する省令(令和5年文部科学省令第2号)附則第2条第4項に規定する、博物館法施行規則第24条第1項の要件を備えている旨の確認

## 館の概要

名 称	安芸高田市歴史民俗博物館
所 在 地	安芸高田市吉田町吉田278番地1
設 置 者	安芸高田市 (安芸高田市吉田町吉田791番地)
目 的	安芸高田市の文化財を保存し、その活用を図り、文化財に関する市民の知識及び文化的な教養の向上に資するため。
沿 革	昭和46年5月 吉田郷土資料館として開館 平成 2年3月 吉田町歴史民俗資料館として新築移転開館 平成16年3月 安芸高田市吉田歴史民俗資料館に名称変更 平成17年9月 博物館登録(旧制度) 平成22年4月 安芸高田市歴史民俗博物館に名称変更
施設規模	延床面積:1,547m <sup>2</sup>
組織体制	館長 1人 副館長 1人 学芸員 1人 事務職員等 3人
収蔵資料	歴史資料(約3,000)、考古資料(約300)、民俗資料(約9,500)、美術資料(約400) 合計約13,200点
展示内容	常設展及び企画展(令和6年度は計3回、令和7年度は計2回開催)
入館料	一般(15歳以上) 500円
入館者数	10,532人(令和6年度)
開館時間	9:00 ~ 17:00
休館日	毎週火曜日(休日の場合を除く。)、休日の翌日(土日を除く。)、年末年始
開館日数	308日(令和6年度)

## 館の概要

名 称	仙石庭園庭石ミュージアム
所 在 地	東広島市高屋町高屋堀1589番地7
設 置 者	公益財団法人仙石庭園 (東広島市高屋町高屋堀1589番地7)
目 的	仙石庭園を広く一般に公開し、日本の庭石文化に触れることで自然の景観や環境の大切さを学習し、日本古来の庭石文化振興等の発展に寄与するため。
沿 革	平成17年 庭園の一般公開を開始 令和 2年12月 仙石庭園銘石ミュージアムとして博物館登録(旧制度) 令和 5年 5月 仙石庭園庭石ミュージアムに名称変更
施設規模	屋外 土地面積:30,154m <sup>2</sup> 屋内 延床面積: 252m <sup>2</sup>
組織体制	館長 1人 副館長 1人 学芸員 1人 事務職員等 4人
収蔵資料	屋外 銘石(736点) 屋内 岩石・鉱物・化石(530点)、地質図類(掛け軸11点)、ろう石類(6点)、 高橋秀夫氏コレクション(98点) 合計645点
展示内容	常設展及びコレクション展(令和7年度は計3回開催)
入館料	一般 1,000円(800円) 中学生・小学生 300円(150円) 年間通用券 3,000円 ( )内は団体料金)
入館者数	9,477人(令和6年度)
開館時間	9:00 ~ 17:00
休館日	12月29日 ~ 1月1日
開館日数	361日(令和6年度)

## 館の概要

名 称	東広島市立美術館
所 在 地	東広島市西条栄町9番1号
設 置 者	東広島市 (東広島市西条栄町8番29号)
目 的	市民の美術品を鑑賞する機会の拡大及び市民の美術に関する創造的な活動の支援を図ることにより文化の発展に寄与するため。
沿 革	昭和53年 4月 大久保博氏が美術館を建設し、東広島市に寄贈 昭和54年 6月 東広島市立美術館開館 令和 2年11月 新築移転開館 令和 5年 1月 博物館登録(旧制度)
施設規模	延床面積:3,947m <sup>2</sup>
組織体制	館長 1人 学芸員 3人 事務職員等 7人
収蔵資料	日本画(約300)、西洋画(約3,000)、彫塑(約50)、西洋陶磁器(約100)、その他(50) 合計約3,500点
展示内容	コレクション展及び特別展(令和6年度は計9回、令和7年度は計7回開催)
入 館 料	一般 300円(240円) 大学生 200円(160円) (( ))内は団体料金
入館者数	40,348人(令和6年度)
開館時間	9:00 ~ 17:00(入館は16:30まで)
休 館 日	毎週月曜日(休日の場合はその翌日)、年末年始
開館日数	305日(令和6年度)

## 安芸高田市の歴史

安芸高田市域は、古代には安芸国内の高田郡と高宮郡の2郡に分かれていましたが、中世以降には高田郡に統合されました。

中世には郡内の荘園・国衙領の地頭として、東国の武士が各地に入部しました。戦国時代には毛利氏や宍戸氏、高橋氏などの国人領主が割拠しましたが、その中で毛利氏は郡山城を本拠に台頭し、元就の時には中国地方一円に勢力を拡大する戦国大名となりました。

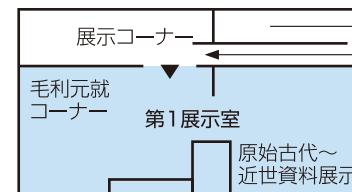
毛利氏の周防・長門移封後、江戸時代の高田郡には最大61ヶ村があり、広島と出雲・石見を結ぶ街道には各地に宿場町や市町がつくられました。

明治時代以降は幾度も統廃合が行われ、昭和48年からは現在の市域である高田郡6町となりました。

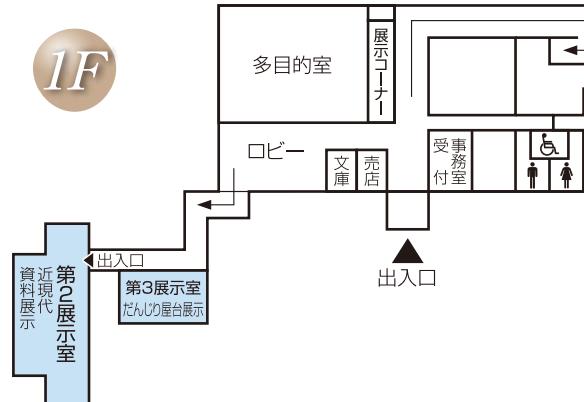
そして、更なる市町村合併の機運が高まり、平成16(2004)年3月1日に6町の合併により、広島県で14番目の市である「安芸高田市」が誕生しました。

## 館内のご案内

2F



1F



## 博物館の活動

安芸高田市歴史民俗博物館は、安芸高田市に関する歴史・民俗資料の収集や保存を行っています。また、これらの調査と研究を継続的に進めその成果を展示等に生かしています。

さらに、市の歴史や文化財に関する理解を深めるための講座やイベント等も実施しています。

### ご利用案内

- ◆開館時間◆ 午前9時～午後5時
- ◆休館日◆ 火曜日(祝休日の場合は開館)  
祝休日の翌日(土日の場合は開館)  
12月29日～1月3日
- ◆入館料◆  
(20名以上の団体)  
大人 300円(200円)  
小・中学生 150円(100円)  
<特別展は別途料金>
- ◆駐車場◆  
(無料)  
普通車 15台 バス 3台
- ◆アクセス◆  
バス 広島バスセンターから吉田出張所行き  
(約1時間40分)安芸高田市役所前下車徒歩5分  
JR 芸備線向原駅からタクシー15分  
自動車 中国道高田インターから15分



### 【表紙のロゴマークについて】

令和5年(2023)に、毛利元就が家督を相続し、郡山城に入城して500年を迎えることを記念して作成されました。



当館ホームページ

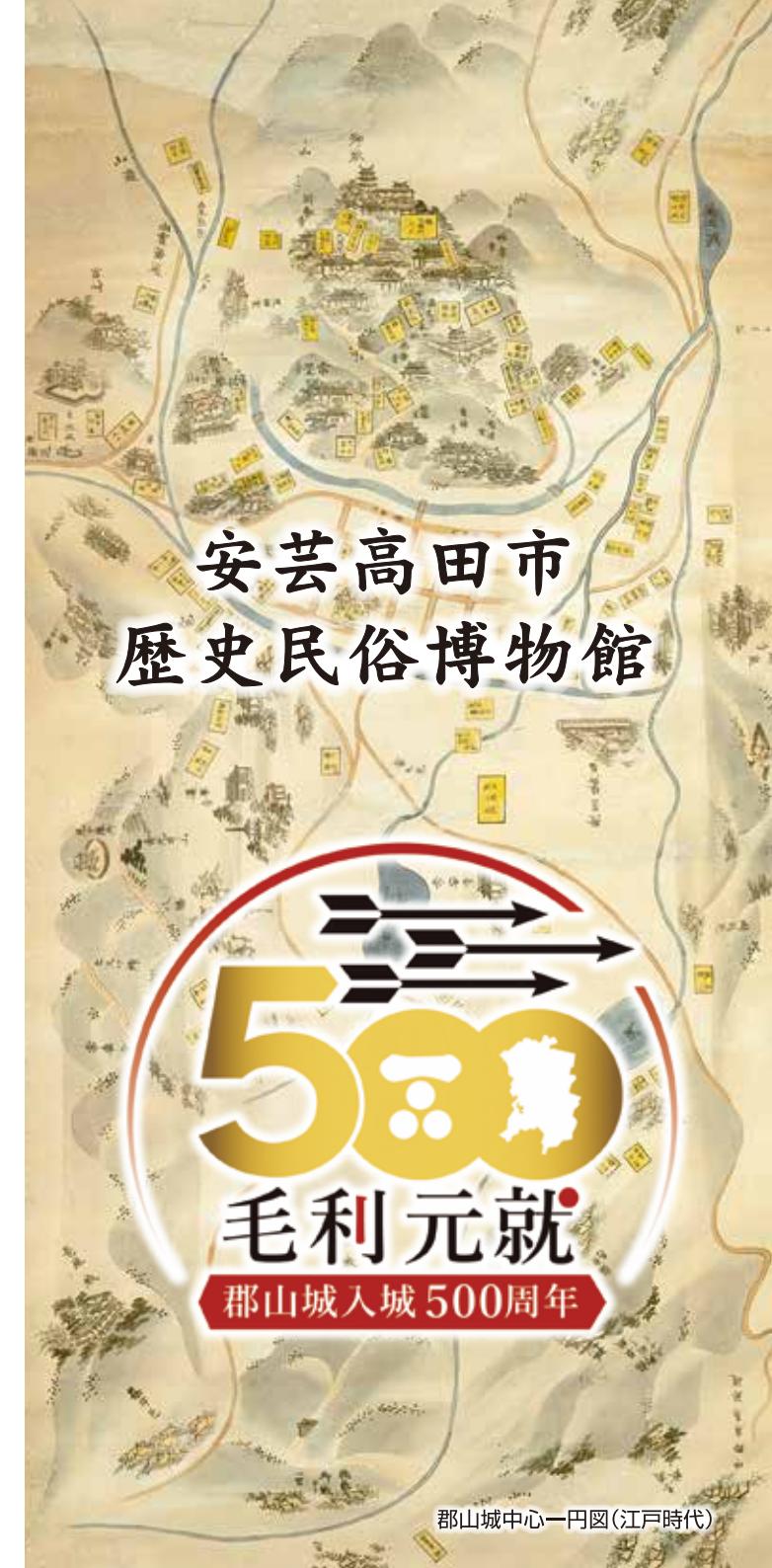


文化財動画紹介  
「おうちミュージアム」

安芸高田市歴史民俗博物館 検索

## 安芸高田市歴史民俗博物館

〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田278番地の1  
TEL/FAX 0826-42-0070



# 常設展示

## 第1展示室

安芸高田市の原始から近世までの歴史を振り返り、特徴的な資料を展示しています。

特に中世は戦国期を核とし、古文書、社寺への奉納品や出土遺物などを中心に展示しています。また、市内に所在する城跡などの史跡をとおして、毛利氏を中心にめまぐるしく変化した安芸高田の歴史を紹介しています。



郡山城復元模型



県重文 千間塚古墳出土亀形須恵器  
7世紀（個人蔵）



明官地廃寺跡出土文字瓦  
8世紀（広島県教育委員会蔵）



甲立古墳出土家形埴輪 4世紀末

原始  
古代

中世



市重文 男山神社獅子頭  
元亀2年(1571)



県重文 清神社棟札  
右：正中2年(1325)  
左：永禄11年(1568)



市重文 毛利元就画像  
江戸時代（個人蔵）

近代  
7



近世コーナー

近世



川角山神社絵馬 蒸気船図  
安政2年(1855)

## 第3展示室

約350年の伝統をもつ子ども歌舞伎が行われるだんじり屋台を展示しています。



現代



毛利元就コーナー

毛利元就(1497-1571)が、郡山城を居城として一国人領主から戦国大名へと駆け上がった生涯を紹介しています。

## 第2展示室

安芸高田市の近現代史について、民俗資料を中心に展示紹介しています。



いろりの間

安芸国高田郡図 正徳6年(1716)



# 公益財団法人 仙石庭園 登録ミュージアムマップ

敷地面積 約12,000坪 (40,000m<sup>2</sup>)





東広島市立美術館  
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

CONTENTS	
2	目次
3	はじめに
5	運営方針・沿革・利用案内・交通案内
6	各階案内
7	施設紹介
11	コレクション紹介
13	建築設備概要
14	展示設備概要





東広島市立美術館は、「人間と自然の調和のとれた文化の薫り高い学園都市」をめざす本市の芸術文化活動の拠点として、1979年6月1日、八本松の七つ池畔に開館しました。

当館は市立美術館としては広島県内で最も古い歴史を持つ美術館です。

この度、新しい美術館が2020年11月、本市中心部であり酒蔵地区や、東広島芸術文化ホール「くらら」が近接する西条の文化ゾーンへ移転オープンしました。

この美術館は、「暮らしとともににあるArt、生きる喜びに出会う美術館」をミッションに掲げ、4つの基本理念「鑑賞(優れた文化や芸術にふれる)」「育成(地域の文化や人をはぐくむ)」「創造(個性的な文化を創造し発信する)」「交流(人が集い、交わり、ひろがる)」に基づき美術館活動を行っていきます。

市民の暮らしと芸術文化の接点となり、東広島市独自の文化を醸成し、地域と世界へ繋がるプラットフォームとしての美術館になることを目指します。

The Higashihiroshima City Museum of Art opened on June 1, 1979. It was started as the base for art and culture activities in university town which has culture produced from the harmony of humans and nature. As a municipal art museum, the Higashihiroshima City Museum of Art has the longest history within Hiroshima Prefecture. The new museum building, which has a completely new design, opened in November 2020. The museum's locations have been moved to the Sakagura District in the heart of Higashihiroshima, as well as the Saijo Cultural Zone, which is near Higashi Hiroshima Arts & Culture Hall Kurara. The new museum has four basic principles to promote its mission, which is "Art in Our Daily Lives: A Museum Where You Can Encounter the Joy of Living." The museum conducts activities based on these four principles, which are the following: Appreciation (Experiencing superior culture and art), Development (Nurturing local culture and people), Creation (Creating unique culture and sharing it), Exchange (People gather, form friendships, and expand their social circles). The Higashihiroshima City Museum of Art aims to become a platform for connecting people's lives to art and culture, developing the unique culture of Higashihiroshima City, and connecting the local region with the world.



## 基本理念 Principles

ふれる  
鑑賞  
Appreciation優れた文化や芸術にふれる  
Experiencing superior culture and artはぐくむ  
育成  
Development地域の文化や人をはぐくむ  
Nurturing local culture and peopleつくる  
創造  
Creation個性豊かな文化を創造し発信する  
Creating unique culture and sharing itつなぐ  
交流  
Exchange人が集い、交わり、広がる  
People gather, form friendship and expand their social circles

## 沿革

昭和53年	大久保博氏が美術館を建設し、東広島市に寄贈
昭和54年	東広島市立美術館開館
昭和61年	2階の増設工事が完了し、落成を記念して「大久保博遺作展」を開催
昭和63年	「第1回東広島市美術展」開催
平成11年	「東広島市立美術館20年のあゆみ展」開催
平成22年	東広島市立美術館開館30周年記念展
	「コレクションで振り返る東広島市立美術館の30年」開催
平成28年	「東広島市美術館建設基本構想・基本計画」を策定
	設計者に「香山・大旗(仮称)東広島市立美術館設計共同体」を選出
平成30年	本体工事着工
令和元年	竣工
令和2年	開館

## 利用案内

■開館時間 9:00-17:00 (入館は16:30まで)

■休館日 月曜日(祝休日の場合はその直後の平日) 年末年始

■観覧料 一般300円(240円) 大学生200円(160円)

※( )内は20名以上の団体 ※高校生以下は無料

※特別展観覧料は展覧会ごとに設定しますので、お問い合わせください。

□後期高齢者医療被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられている方は、無料で入館いただけますので、受付で各手帳等をご提示下さい。また、介護者につきましては、観覧料が無料になる場合がございますので、受付でご確認下さい。

## Opening Times and Admission

■Opening Hours 9:00 a.m. – 5:00 p.m. (Entrance until 4:30 p.m.)

■Closed on Mondays (If Monday falls on a national holiday or other off day, the museum will be closed the following day.) Year-end and New Year periods.

■Admission General – 300yen(240 yen) University students – 200yen(160 yen)  
\*Prices in parentheses are for groups of more than 20.  
\*High school students or younger get free admission.  
\*Special exhibitions each have their own set admission fees.  
Please inquire before entering.

□ Admission is free for those who have been issued Elderly Medical Insurance Certificates, Physical Disability Certificates, Medical Treatment and Education Handbook, or Mental Disability Certificates. Please present your certificate or handbook at reception. Caregivers may also be able to receive free admission. Please confirm at reception to see if you are eligible.

## 基本方針 Missions

優れた文化や芸術にふれる  
Experiencing superior culture and art

To be a place where people enjoy excellent art

世界をつなぎ、まちをつくる美術館  
To connect with the world and work for the future of the city創造し参加体験する美術館  
To engage people with art and hands-on experiences連携・交流する美術館  
To encourage the gathering and interaction of people

## History

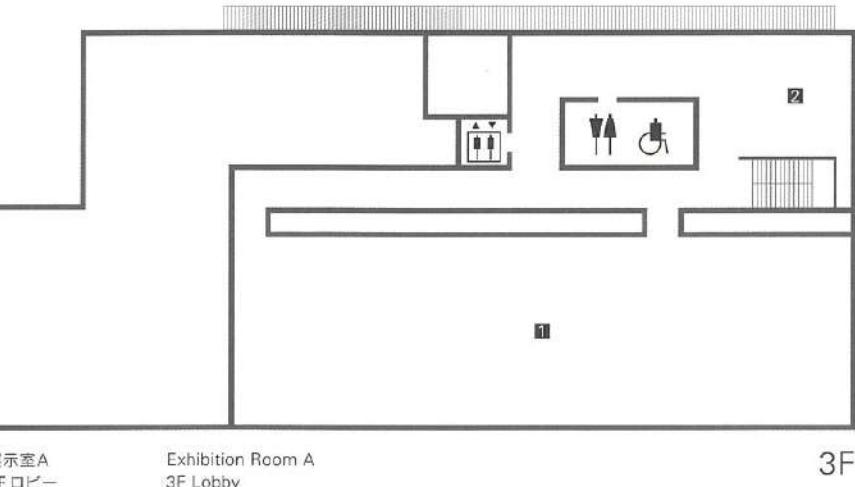
1978 : Mr. Hiroshi Okubo built the art museum and donated it to Higashihiroshima City  
 1979 : It was opened as a city museum  
 1986 : To commemorate the completion of the second floor construction,  
     "Exhibition of Posthumous Works of Hiroshi Okubo" was held.  
 1988 : "1st Higashihiroshima City Art Exhibition" was held.  
 1999 : "20th Anniversary Exhibition" was held.  
 2010 : "30th Anniversary Exhibition to Reflect on the Museum History" was held  
 2016 : Basic Concept and Action Plan of Higashihiroshima City Museum were drawn up  
     Koyama・Oki (provisional name) Higashihiroshima City Art Museum Design Entity was nominated as a designer.  
 2018 : The construction started.  
 2019 : The construction was completed.  
 2020 : The museum was opened.

## 交通案内

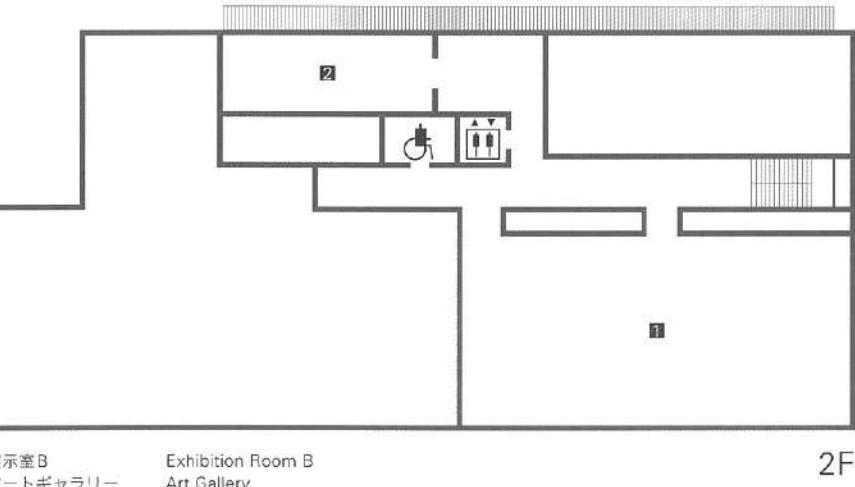


## Access

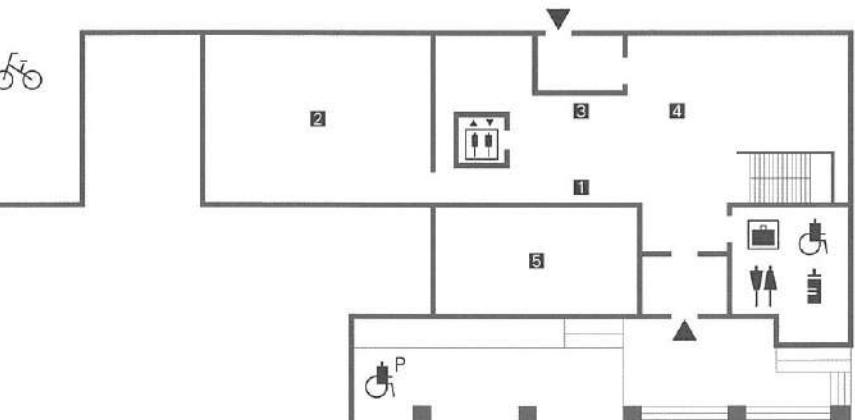
- Train JR Saito Station – around 400 meters (a 10 minute walk)  
JR Higashihiroshima Station (Sanyo Shinkansen) – Take the bus headed to Saito Station and get off at the Chuo Koen-mae stop. The museum is close to the stop.
- Bus Take the Saito city area circulation bus (called Non Bus) to Chuo Koen-mae. The museum is close to the stop.
- Car About 7 minutes from the Saito IC on the Sanyo Expressway.  
\*There is no parking lot in the museum. If you are visiting the museum by car, please use a parking lot in the neighborhood.



3F

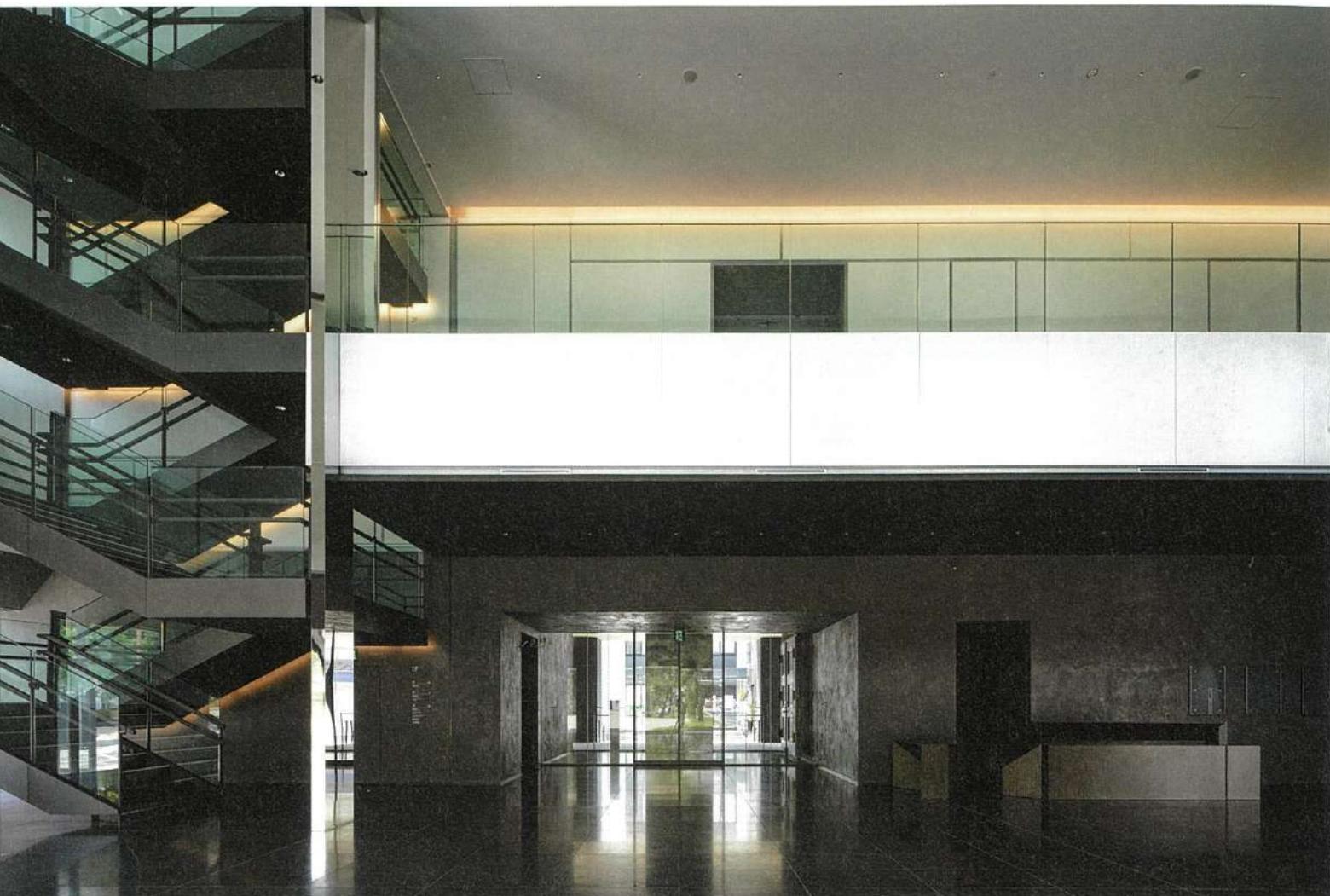


2F



1F





1階ロビー・総合受付・ミュージアムショップ

1階ロビーには、総合受付・ミュージアムショップを設置予定です。

総合受付では観覧券の販売を行います。

ショップでは展覧会図録、ポストカードといった館オリジナルグッズ等の販売を行います。

1F Lobby - Central Reception - Museum Shop

On the 1st floor lobby, a central reception and a museum shop are planned to be installed. Admission tickets are purchased at the central reception.

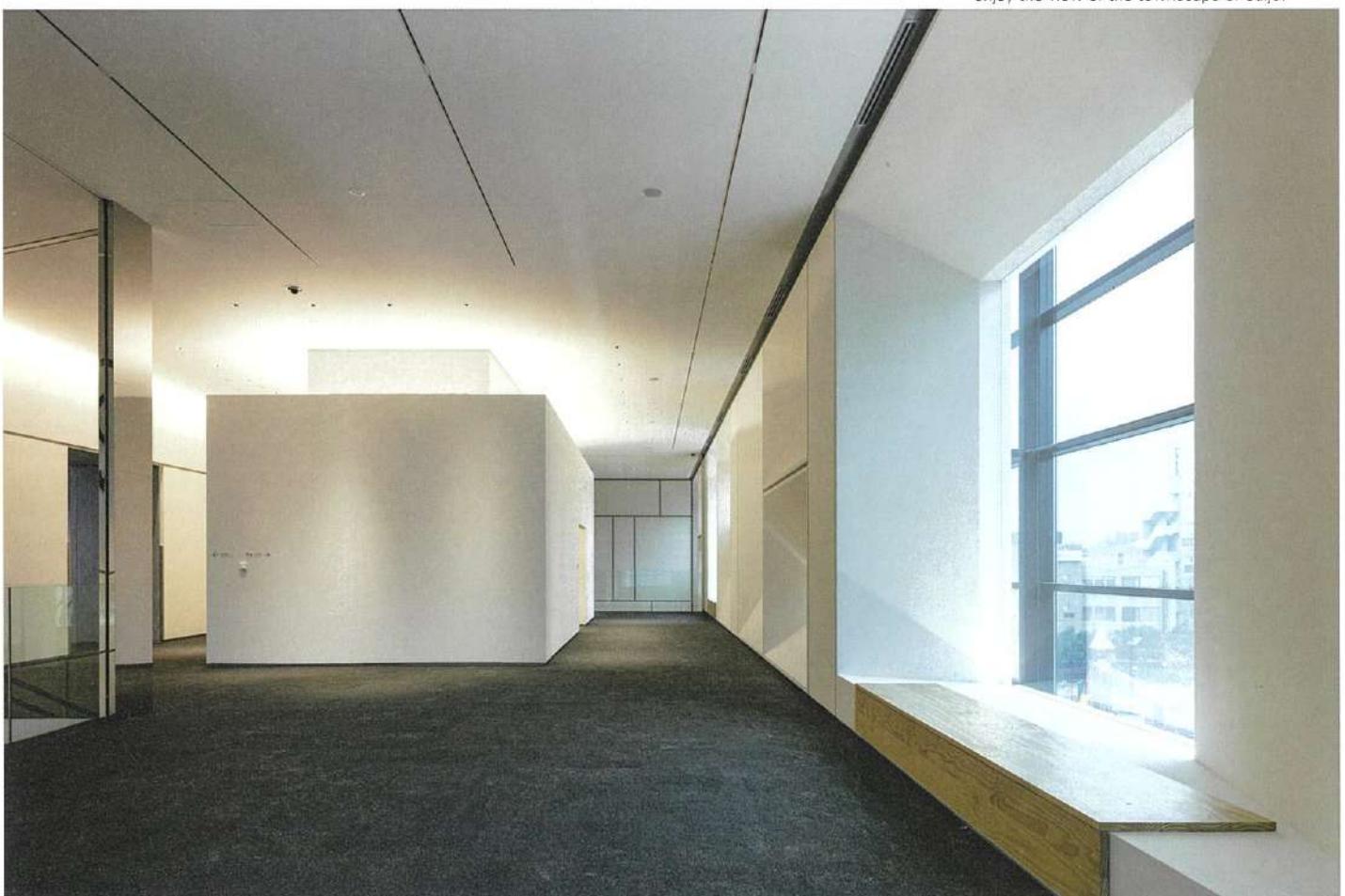
At the museum shop, original items such as exhibition catalogues and postcards are on sale.

## 【旧美術館扉・欄間】

市内黒瀬町出身の故大久保博氏が旧美術館を建設・寄附した際、東京都美術館旧館で使われていた扉及び欄間を移設しました。新美術館では南口の風除室に設置しています。

[Door and Ranma Transom Window from the Old Museum]

When the late Hiroshi Okubo, a native of Kurose-cho in Higashihiroshima City, constructed and donated a building to the old museum when it opened, he brought over and installed a door and ranma transom window which were used at the original building of the Tokyo Metropolitan Art Museum. These are now installed in the south windbreak room in the new museum building.

2Fロビー  
2F Lobbyロビー階段  
Lobby Stairs3階ロビー  
3F Lobby  
公園に面した窓側には木のベンチが設置されており、窓から西条の街並みを一望できます。3F Lobby  
Some wooden benches are equipped along the windows facing the park. Please have a seat to enjoy the view of the townscape of Saijo.

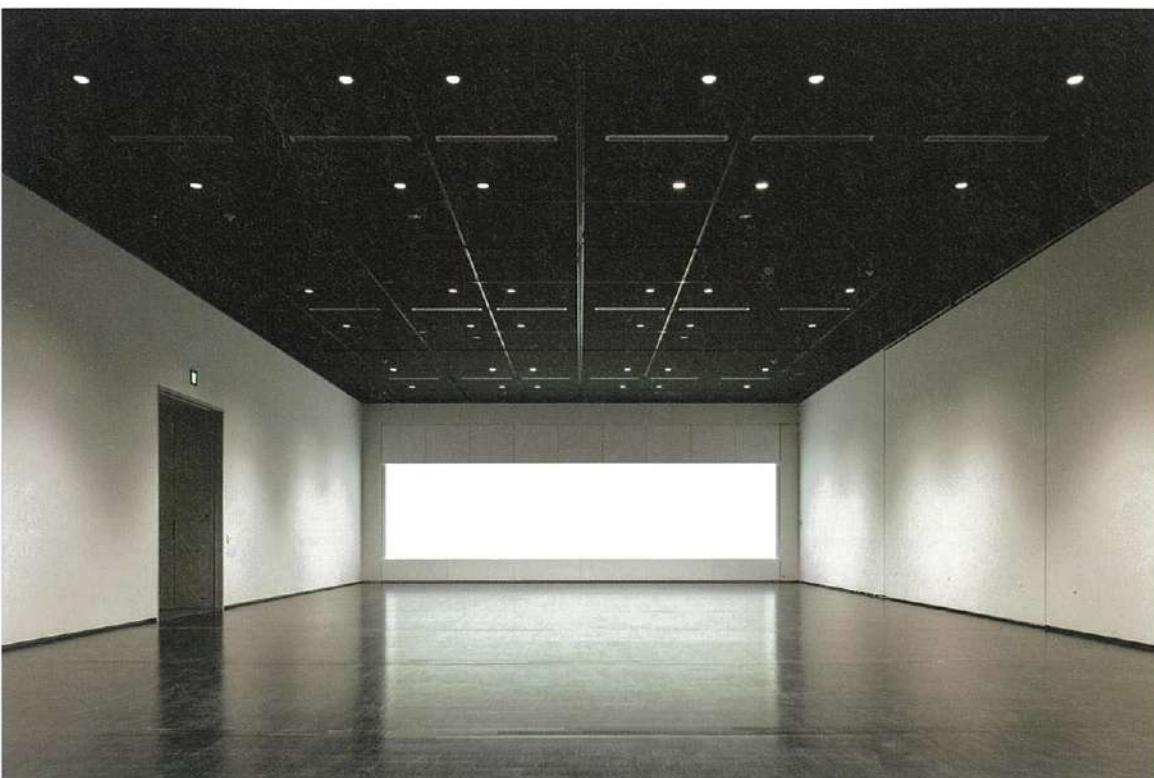


展示室 A

自主企画展や全国規模の巡回展など、さまざまなテーマの特別展を開催します。

Exhibition Room A

Various special exhibitions, such as ones which are planned by our museum and display artworks traveling nationwide, are held.



展示室 B

特別展のほか、コレクション展を中心に開催します。

Exhibition Room B

Besides special exhibitions, some themed collections are displayed.



アートギャラリー

市民の皆さまの芸術活動の発表の場としてご利用いただけるギャラリーです。

Art Gallery

Citizens are free to use the gallery for art activities, such as their own exhibition space.



アートスペース

展覧会に関連したイベントや創作体験ができる場としてご利用いただけるスペースです。

Art Space

Please make use of the space for events related to exhibitions and hands-on activities.



一時保管庫

Temporary Storage



収蔵庫

Storage



搬入口

Entrance for loading



収蔵庫

Storage

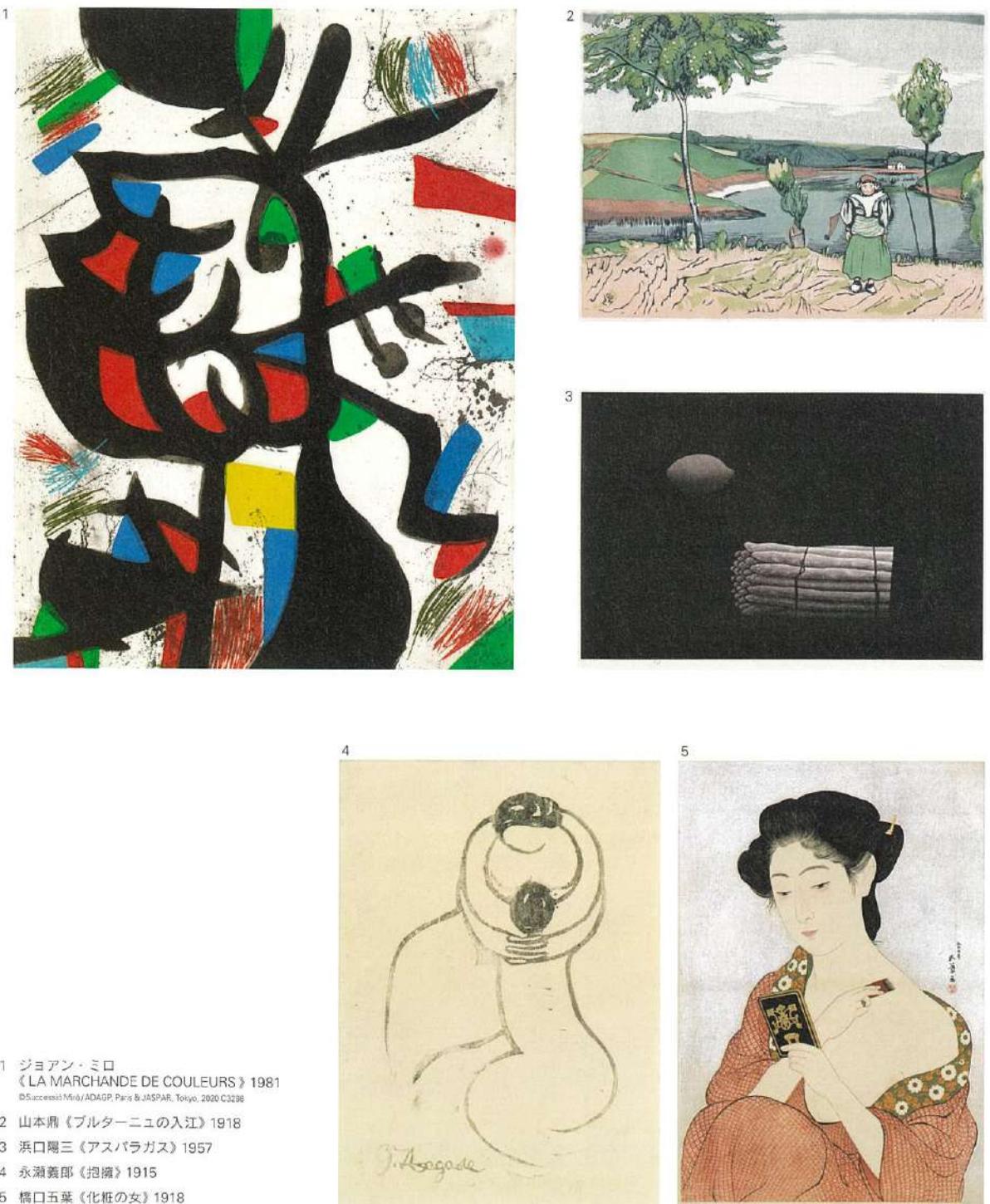
当館では「近現代版画」「現代陶芸」「郷土ゆかり」を中心とした収集活動を行っています。明治期以降の近現代版画コレクションは所蔵品の約7割を占めます。とりわけ日本の版画は、戦後の国際的な展覧会で受賞を重ね、非常に高い評価を受けてきました。当館では、版画の多様な表現を映し出しながら、系統的な収集を目指しています。

一方、東広島市は質の高い陶土が産出されることから中国地方を中心とする優れた現代陶芸作品を収集してきました。このほか、郷土が育んだ作家の作品を収集・活用することによって、市民が郷土ゆかりの美術と触れ合う機会を創出することは、地域に根ざした美術館が果たす大きな役割といえるでしょう。

Our ongoing artwork additions focus on contemporary block prints, contemporary ceramics and artworks related to the local community. Contemporary block prints produced since the Meiji Era (1868 – 1912) account for 70% of all the collection. Japanese block prints have won awards at various international competitions after the end of WWII and are highly valued. We try to make a systematic collection, searching for a wider range of artistic expressions.

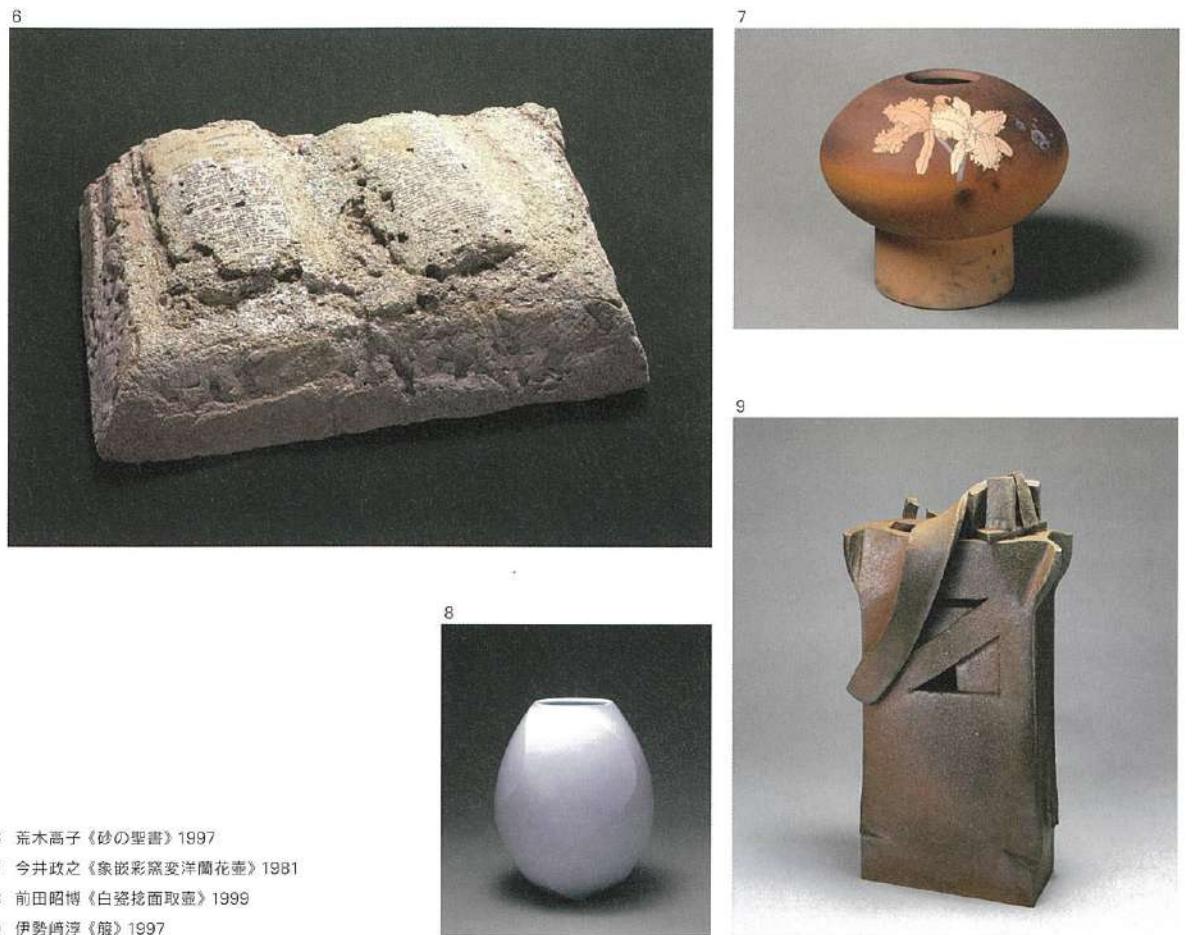
Higashihiroshima is rich in high quality ceramic clay. The museum also features a collection of excellent pieces of pottery of the Chugoku Region. Through our collection of local potters' works, citizens can feel close to the local culture. This is surely an important role of the art museum, which is rooted deeply in the community.

## 近現代版画



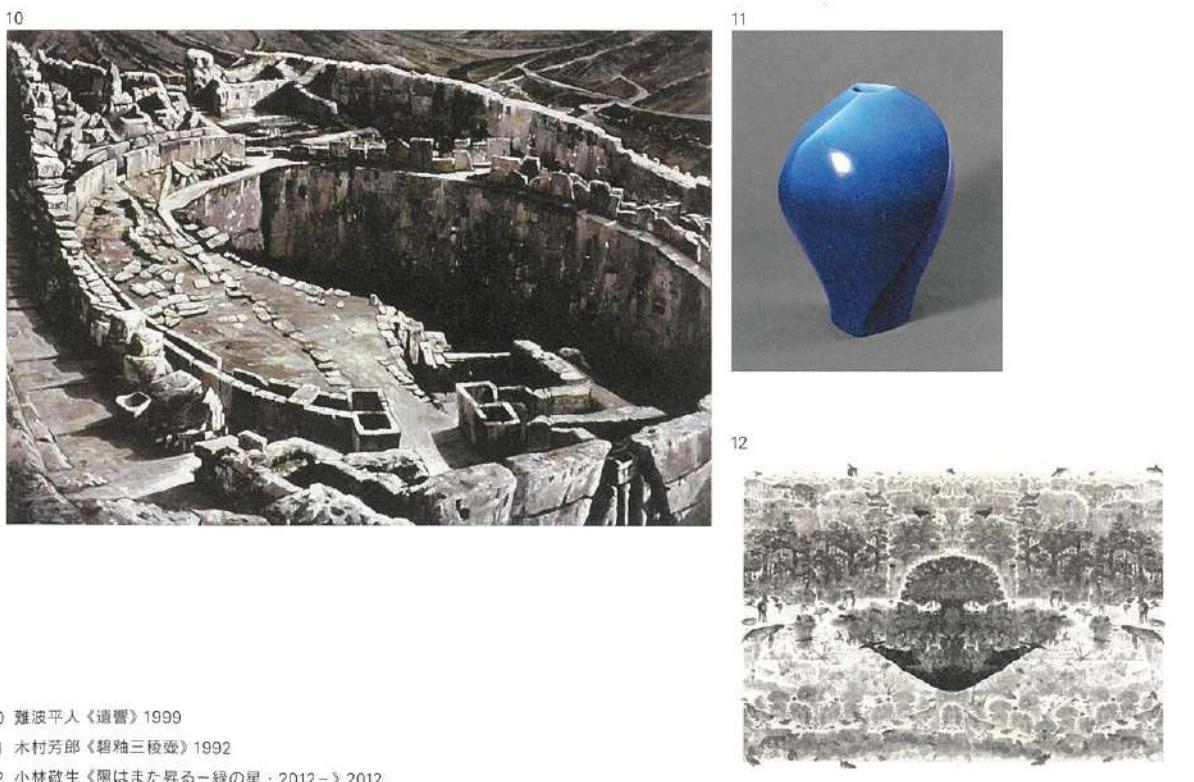
1 ジョアン・ミロ  
《LA MARCHANDE DE COULEURS》1981  
©Succession Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 C3298  
2 山本鼎《ブルターニュの入江》1918  
3 浜口陽三《アスピラガス》1957  
4 永瀬義郎《抱猪》1915  
5 橋口五葉《化粧の女》1918

## 現代陶芸



6 荒木高子《砂の聖書》1997  
7 今井政之《象嵌彩窯変洋蘭花壺》1981  
8 前田昭博《白瓷捻面取壺》1999  
9 伊勢崎淳《瓶》1997

## 郷土ゆかり



10 難波平人《遺書》1999  
11 木村芳郎《碧釉三稜壺》1992  
12 小林敬生《隕はまた昇る—緑の星・2012-》2012

## ■ 建築設備概要

建築物名称	東広島市立美術館
所 在 地	東広島市西条塚町9番1号
敷 地 面 積	1,805 m <sup>2</sup>
建 築 面 積	1,385.86 m <sup>2</sup>
延 床 面 積	3,946.67 m <sup>2</sup>
階 数	地上3階
最 高 高 さ	21.372 m
構 造 種 別	鉄筋コンクリート造
建 築 主	東広島市
設 計	香山・大旗（仮称）東広島市立美術館設計共同体
施 工	建築：松井建設株式会社 機械設備：ダイダン・三共冷熱特定建設工事共同企業体 電気設備：大和・国土技建特定建設工事共同企業体

## ■ 建築仕上

外 壁	上層部：アルミキャストパネル (t=8) 低層部：レンガ積み (t=65) (中空積み工法) (一部アルミカットパネル)
建 具	開口部：アルミ製建具・アルミ製カーテンウォール フッ素樹脂焼付塗装 出入口：スチール製建具 フッ素樹脂焼付塗装（一部レンガタイル貼り） 出入口（自動ドア）：ステンレス製建具 撤入口：銅製シャッター フッ素樹脂焼付塗装
内 部	1Fロビー 床：御影石（ブラウンアンティーク）(t=20) 壁：石膏ボード 左官仕上 天井：石膏ボード 左官仕上 2・3Fロビー 床：タイルカーペット 壁：石膏ボード 左官仕上 天井：石膏ボード エマルジョンペイント（一部左官仕上） 展示室/アートギャラリー 床：フローリング 壁：石膏ボード クロスペンキ 天井：石膏ボード エマルジョンペイント 展示室 床：フローリング 壁：石膏ボード クロスペンキ 天井：石膏ボード エマルジョンペイント 収蔵庫/一時保管庫 床：ブナフローリング (t=15) 壁：無機質系調湿板 (t=13) 天井：調湿ロックウール吸音板 (t=12)

## ■ 機械設備概要

空調換気設備	
熱 源	空冷ヒートポンプモジュールチラー
機 器	空気調和器（ユニット型）
	4系統
	空気調和器（天吊型）
	9系統
	外調機
	2系統
	換気送風機
	3系統
	空冷ヒートポンプパッケージ
	12系統
換 気	ファンコイル
	2台
	全熱交換機
	7系統
	床張房設備
	1系統
換 気	給気送風機
	6系統
	排気送風機
	15系統
	エアフローウィンドウ送風機
	6台
	排煙送風機
	1系統
	ハロン排出用送風機
	5系統
給排水衛生設備	
給 水	増圧直結給水ポンプ
	1台
給 湯	電気給湯器
	3台
消 火	ハロゲン化物消火設備（展示室・収蔵庫・一時保管庫）
	屋内消火栓（易操作性1号消火栓）65Φ×300L/min×65m×7.5kW
給 水	排水ポンプ（自動互交連転）
	2台×2ヶ所

## エレベーター設備

客用エレベーター（1号機 乗用）	
制 御 方 式	機械室レスインバーター制御方式
積 載 荷 重	1,000 kg 15人乗
定 格 速 度	60 m/min
戸開閉方式	2枚両引き
停 止 階	1・2・3階 (3力所)
搬出入用エレベーター（2号機 人荷共用 / 非常用エレベーター）	
制 御 方 式	インバーター制御方式
積 載 荷 重	3550 kg 54人乗
定 格 速 度	60 m/min
戸開閉方式	3枚片引き
停 止 階	1・2・3階 (3力所)

## 展示設備概要

## ■ 電気設備概要

強電設備	
電 力 引 込	3相3線 6.6kV 1回線受電
受 変 電	屋外キュービクル式受配電盤（屋上）
変 壓 器 容 量	1,000 kVA (3相 800 kVA, 単相 200 kVA)
非 常 用 電 源	発電機 ディーゼル発電機 200 kVA
	始動方式 セルモーター始動式
	燃 料 A重油
	燃料タンク キュービクル式燃料タンク
	容 量 1,950 L
	非常時 40時間以上運転可能
照 明	LED 照明
	展示室／調光・調色照明システム

## 弱電設備

電 話	電話交換機（60回線 - 実装35回線）
放 送	業務用放送アンプ 容量180W
	回線数 20回線 - 実装19回線
	チャイム、ラジオチューナー内蔵
	CD、USB、SDカード対応
	マルチリモートマイク（受付カウンター、警備員室）
	ローカル放送用スピーカー設置（ロビー、アースペース）
テ レ ビ 共 聴	地上波デジタル BS/CS
インター ホン	業務用インターホン設置
	来館者用：南・北エントランス - 事務所・警備員室
	職員用：職員エントランス - 事務所・警備員室
呼 出 表 示	多目的トイレ呼出表示 表示器：事務所、警備員室各5箇
自 動 火 災 報 知	GR型受信機 510 アドレス - 実装143アドレス
雷 保 護	避雷導線 保護レベルII

## ■ 情報設備

無線 LAN サービス設備	東広島 FREE Wi-Fi (ロビー、展示室、アースペース)
---------------	------------------------------------

## ■ セキュリティ設備

防 火	複合受信機GR型集中監視
表 示 方 式	10.4インチカラー液晶パネル
表 示 回 線	209 (自火報、防火戸、シャッター、防排煙、屋内消火栓、ハロン消火)
副 備 信 機	
防 犯	機械警備システム一式
	入退出管理システム（非接触カードリーダー）
	監視カメラ、防犯センサー

## ■ 展示環境

照 明	展示室A	調光調色ベースダウンライト 調光 1~100% 調色 2,700K ~ 6,500K 無線信号制御方式（制御用タブレット） スポット照明用ライティングダクト
展示室B	調光調色ベースダウンライト 調光 1~100% 調色 2,700K ~ 6,500K 無線信号制御方式（制御用タブレット） スポット照明用ライティングダクト	
展示室A	高透過ガラス (t=12) 内開きフラット扉 調湿ボックス（循環ファン）付 LED照明（調光色度：0~100% / 2,700 ~ 5,000K） LEDスポットライト照明（調光：0~100% / 3,000K）	
展示室B	エアタイト方式 900W×900D×2,100H 12台（内、免震ケース4台） 900W×900D×2,100H 3台（内、免震ケース1台） 1,800W×900D×2,100H 3台 1,800W×750D×900H 3台 2,600W×1,200D×2,700H 3台 ノンエアタイト方式 1,500W×600D×950H 6台	

## ■ 備品概要

展示ケース	施 工 型	エアタイト方式 高透過ガラス (t=12) 内開きフラット扉 調湿ボックス（循環ファン）付 LED照明（調光色度：0~100% / 2,700 ~ 5,000K） LEDスポットライト照明（調光：0~100% / 3,000K）
置 型	エアタイト方式 900W×900D×2,100H 12台（内、免震ケース4台） 900W×900D×2,100H 3台（内、免震ケース1台） 1,800W×900D×2,100H 3台 1,800W×750D×900H 3台 2,600W×1,200D×2,700H 3台 ノンエアタイト方式 1,500W×600D×950H 6台	
設 置 枚 数	展示室A 3,600W×4,700D 12枚 1,800W×4,700D 4枚 展示室B 3,600W×4,500D 8枚 1,800W×4,500D 2枚	
絵画ラック	栗台吊下げ式 3,080W×4,500D 17台	

